

■第4回陸奥の国のまちづくりワークショップ 意見のまとめ 黄グループ

	現況の問題点	将来のイメージ	整備・保全・改善の考え方
河川・海など 水辺環境	<ul style="list-style-type: none"> 河川工事、海の工事にムダ遣いが多いことと、環境破壊がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 海、川、里山、まちの環境をキレイに。 植林をして、海との関連を高める。山の浄化、生活排水の浄化を図る。 生活排水を徹底して浄化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ウォーターフロント、リバーフロントの発想に基づく整備を図る。 下水道の整備促進
自然地		<ul style="list-style-type: none"> むつ市民にとっての最大の財産は『自然』である。 	<ul style="list-style-type: none"> 『はまなす』がむつ市の花と分かるほど植えて、それを活かした加工品の有効利用を図る。
まちなかの緑	<ul style="list-style-type: none"> まちなかに緑が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ビオトープ（生物多様性空間）の創造、演出を図る。 親水公園の整備を図る。 田名部川沿いの遊歩道の活用（ウォーキング、ジョギングコース） 	<ul style="list-style-type: none"> バランスの取れた緑地帯の確保 都市公園、街路樹など
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> 身近な公園が少ない。 小川町児童公園は水処理が不十分で、いつも湿っていて子供が遊べない。 街灯（照明）が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての公園の管理状況を点検して、子供や高齢者などに使ってもらえるように改善を図る。 	
景観		<ul style="list-style-type: none"> 街並み景観の統一性を図る。 屋根の色やかたちなど 	<ul style="list-style-type: none"> 景観条例の制定
防災		<ul style="list-style-type: none"> 避難場所の確保を図る。 避難道路を確保し、誰にでもわかりやすい避難場所への案内板を設置する。 	
環境と生活	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少はまぎれもない事実である。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境と生活の調和を図る。現在の我々は三内丸山の縄文文化に学ぶ必要がある。 社会資本投資を拡大・分散することになる『開発を認める区域』を広げない。 開発規制が結果的に自然環境を守ることになる。 	
都市のインフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画に大局的な戦略性がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路を一度作ったら壊さない。電気、水道、ガスなど、道路を掘り起こす工事は調整して一度にできるようにする。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 中間貯蔵施設を安全だと思っている市民は多いのか。 		